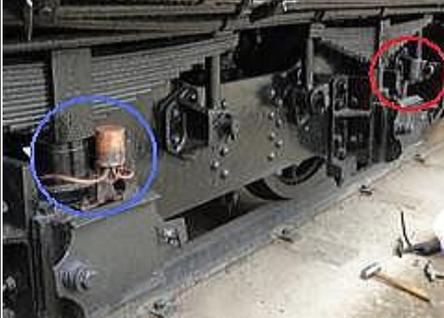
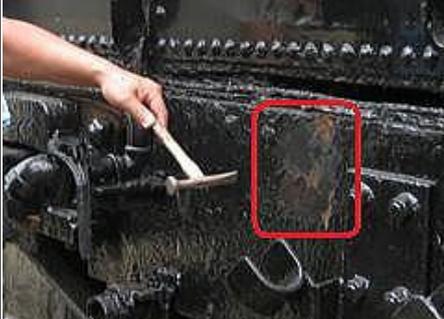


平成24年7月1日の定期保守作業

午前中に芦屋町へ移動し、のD60 61号機の磨き作業と周辺の清掃を行いました。

午後からは、9600形59647号機／C61 18号機の磨き作業を行ったのち、直方いこいの村へ移動、D51 225号機の磨き作業と周辺の清掃作業を行いました。

いこいの村では、併せていすゞキュービック(国鉄バス)の清掃作業も行いました。

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
		<p>前日の天気予報は雨。降水確率は実に70%・・・延期も一瞬頭をよぎりましたが、取り敢えず降ってないから現地に行ってみよう、という事に。 現地に到着すると、町役場の方がヘッドライトを点灯させて待っていて下さいました(´◇`)こういう姿を見せられたら、俄然やる気も起きます！ 今にも雨が降り出しそうな空模様のなか、作業を開始しました。</p>
		<p>何ということでしょう。 作業開始からほどなく、青空が広がりはじめたではありませんか！ (ん、どこかで聞いたセリフだな・・・) 天気予報が見事に外れてくれたお陰で、滞りなく作業を終える事が出来ました。ただ湿度が高く、ジメジメしてはいましたが、それでも、時折吹く風が心地良く感じられました。</p>
<p>①D60形61号機(芦屋町)</p>		<p>ここで今回のトピックスを2つほど。 まず1つ目は・・・メカ好きのメンバーが何やら悪さを・・・している訳ではありません。 じゃあ、何をやっているかという・・・(次の写真をご覧ください)</p>
		<p>「油壺」と呼ばれる部品を交換していました。車軸に潤滑油を供給する為の部品ですね。 奥の赤丸で囲んだ所が未交換で、手前の青丸で囲んだ所が今回交換した部品です。 銅製なので、本来はこのように「あかがね色」に輝き、黒ずくめの車体にあって良いアクセントとなります。 もしこの車両をご覧になる機会がありましたら、どこにあるか探してみてください。</p>
		<p>トピックスの2つ目は・・・車体をハンマーで破壊・・・ではありません。塗膜の裏側に水分が入り、地金部(赤枠で囲んだ部分)にサビが発生していました。そのまま放っておくと腐食が進行し、気がつけば大きな穴がポッコリと開く事になります。そこで、表面の塗膜を剥がし、再度修復します。</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
番外編: 芦屋町から汽車倶楽部へ移動中		<p>作業を終了し、汽車倶楽部へと戻るバスの中ではメンバーがロク々に「晴れてくれて良かったねえ」と。「僕の日ごろの行いが良いから?」と、お決まりのセリフも…(笑) この後、お昼ご飯で英気を養い、午後の作業に備えます。</p>
②960形59647号機		<p>はて、「ロッククライミング」の練習ですか?それとも「スパイダーマン」になった気分かな? 本人は至って真剣に磨いてくれている(筈)ですが、写真で見るとつい、茶化しなくなってしまう…</p>
		<p>一方で、こちらの方は機関車の上。 ドームをピカピカに磨いています。 因みにこの方、お仕事の関係で関東にお住まいの会員さんで、久々の「汽車磨き」参加という事もあり、本当に楽しそうな顔をしてらっしゃいました。 十分に「鉄分補給」されたのではないのでしょうか?</p>
③C61 18号機		<p>天気が持っている間にキレイにしておこう、という訳で作業する手にも力がこもります。 屋外にある車両は、雨が降ったら作業出来ません。だから、出来る時には可能な限り手をかけています。 関東の地で動態復活を遂げた僚友、20号機には負けられません!</p>
④いすゞキュービック 国鉄バス		<p>無事に車検を通り、帰ってきました。 大がかりな修復は無かったようです。 今日は午前中に芦屋町までロングランしており、「御苦労さま」の意味も込めて念入りに磨きました。 今後の課題は、やはり屋根板の腐食対策ですかね。</p>
⑤D51 225号機(直方いこいの村)		<p>こちらも天気が持っているうちに、という事で。空には黒い雲がかかるも、雨だけは最後まで降る事はありませんでした、良かった良かった…参加頂いた皆様、今日は1日お疲れ様でした。</p>